

保育・教育環境の自制心への影響

どのような保育環境・教育環境であれば自制心が育つのでしょうか・・・？

ダイヤモンドという学者は（宝石のダイヤモンドと同じ呼び方ですが人名です）、以下9点を提唱しています。

- (1) より高いレベルの挑戦を促すカリキュラムである。
- (2) 教室内でのストレスを減らす。
- (3) 恥ずかしい思いをさせない。
- (4) 子どもの喜び、プライド、自信を培うカリキュラムである。
- (5) 能動的で実用的な取り組みを行っている。
- (6) 保育者が活動の進捗度合いの異なる子どもに余裕をもって対応する。→（学級規模が関係すると考えられます。）
- (7) 学業だけでなく人格形成を重視している。
- (8) 話しことばを重視している。
- (9) 子ども同士で教え合いをさせている。

他にも、保育者や幼稚園の教員が主導する活動や教え込みではなく、子どもの主体的な遊びを重視することが自制心の向上につながること。→ 最近、特に注目されています。

私ども研究グループでは、幼稚園の先生方と話し合って、自制心を育てるのに役立つと思われる「絵本」を選定し、本年6月には各幼稚園に置いていただきましたし、これまで以上に昆虫や植物図鑑等の冊数を増やして、子どもたちが主体的に調べられる環境づくりを強化してまいりました。さらに、数量は限定的ですが、日常生活で自制心が求められる場面のみで構成したカルタを作成させていただきました。



冒頭に記したダイヤモンドが述べる9点と子どもが主体となっただけ活動することを、ご家庭と園で共通理解した上で、今後子どもに関わっていただければ、自制心がより向上すると考えられます。

文教大学教育学部教授 小林稔